

池田町福祉教育講演会及び事例発表

～平成27年8月1日（土）池田町中央公民館大ホール～

8月2日（土）池田町中央公民館において、池田町及び池田町教育委員会主催の「池田町福祉教育講演会及び事例発表」が、文部科学省 清原 洋一 主任視学官、岐阜県教育委員会 学校支援課 吉田 梓 課長をお招きして、以下のテーマと日程で開催されました。

テーマ「豊かな心を育む福祉教育」～福祉社会は皆でつくる～

主 催 : 池田町、池田町・養基組合教育委員会、南部学校教育会

後 援 : 岐阜県教育委員会、池田町社会福祉協議会

プログラム: 主催者挨拶 9:00～9:10

池田町長 岡崎 和夫 氏

池田町議会議長 岩谷 真海 氏

第一部 講演会 9:10～10:00

清原 洋一 文部科学省初等中等教育局視学官室 主任視学官

演題「福祉と教育 今後の展望」

パネルディスカッション 10:00～10:50

「福祉と町づくり」

コーディネーター 岐阜大学名誉教授 小林 月子

パネリスト 町理事・学校関係者・福祉関係者

第二部 池田町の福祉教育 11:00～12:10

福祉教育概要説明

～児童生徒を主体とした事例発表～

池田町の小学校（温知・宮地・養基・池田・八幡）

池田中学校

池田高校

サンビレッジ国際医療福祉専門学校



主催者挨拶

岡崎町長「高校まで一貫した福祉教育を」 岩谷議長「福祉のまちづくりを」

第一部の講演会では、文部科学省の清原主任視学官による「福祉と教育 今後の展望」というテーマで講演が行われ、これからの少子高齢化社会の中で、地域を担う人材の育成の視点から、福祉教育の重要性を説明していただきました。



文部科学視学官室 主任視学官 清原洋一氏による講演

同じく第一部のパネルディスカッションでは、池田町の教育分野の代表者ディスカッションが行なわれ、本校校長、野畑伸芳がパネラーとして登壇、本校の基本理念である“Global Welfare（国際社会の中でよりよく生きる）”及びE S D（Education for Sustainable Development）の考え方について触れ、国際教育と福祉教育には共通する考え方があること、池田高校での福祉教育の推進が、地域の持続可能な発展に貢献することに繋がることを述べました。



パネルディスカッション



野畑伸芳校長

第二部では、福祉教育の事例発表があり、池田町の小学校（温知小、宮地小、養基小、池田小、八幡小）、池田中学校、池田高校及びサンビレッジ国際医療福祉専門学校の児童生徒や学生が、それぞれの学校での取組事例を発表しました。



小学校の取組み発表



池田中学校の取組み発表



池田高校からは、生徒会役員であり、ボランティア会に所属、専門科目「社会福祉基礎」を選択する3年生の大橋真麻さん、同じく3年生の海老名紗幸さんの2名が代表として登壇しました。発表では、池田高校のPRをするとともに、池田高校で行われている様々なボランティア活動や社会福祉基礎での授業の内容（外部講師として来ていただいたサンビレッジ国際医療福祉専門学校の先生方への謝意含め）、そして「福祉教育」を柱に今年度、池田高校が岐阜県の公立高校で初の「ユネスコスクール」に認可されたことの報告など、福祉教育の取組事例とその成果を発表しました。

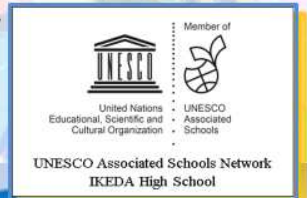


池田高校 3年2組 大橋さん、海老名さんによる池田高校の福祉教育の事例発表



岐阜県の公立高校で初のユネスコスクールに認定されました！

・ESD(持続可能な開発のための教育)の推進拠点として、今年4月23日付けでパリのユネスコ(国際連合教育科学文化機関)本部より、加盟の承認証を授与されました。



大垣ユネスコ協会より ESDパスポート授与

池田高校が「ユネスコスクール」に承認されたことを説明するパワーポイント

発表の最後に、海老名紗幸さんが、これまでの取組の成果として、

「私は、八幡小学校、池田中学校、池田高校で、様々なボランティア活動を体験したり、専門の先生方のお話をきくことで、自分の中の視野を広げることができました。将来、この経験を活かして福祉の道に進みたいと思います。そして、これからも池田高校は、『福祉の町づくり』を進める池田町と協力しながら、地域の持続可能な発展に貢献していきます。」

と締めくくりました。

指導講評

会の最後に、清原 洋一 文部科学審議官からは、

「いろいろな体験活動を通じて、互いに心が通じ合い、笑顔になること、そういう経験を子どもたちがしていることに大変感動した。」

また、吉田 梓 学校支援課長からは、

「小学校から、子どもたちの発達段階に応じた福祉教育が行なわれていることに感謝申し上げたい。特に池田高校では、“Global Welfare” をキーワードに、関係機関とも連携しながら、将来の進路選択も視野に入れながら福祉教育を進めているとのこと。また、福祉教育を環境教育や国際教育と合わせて、ESDの視点で学校をあげて取組み、ユネスコスクールとして、国際的にも認められたことを評価したい。」とのコメントをいただきました。



吉田 梓 学校支援課長